

【終了報告書】

研修先大学/ 活動先機関名	セントヒルダカレッジ	参加 プログラム名	セントヒルダプログラム	国名	イギリス
氏名		学籍番号		学科	英語英文科
参加時の 学年	3年	参加費用 (日本円での概算)	79万		
参加日程	20205 年 8 月 17 日 ~ 2025 年 8 月 31 日 (2 週間)			記入年月日	2025 年 9 月 2 日

① 参加前について

研修・活動に参加する目標は何でしたか。

留学を体験することが第一の目的でした。イギリスは私が最も行きたいと考えていた国であり、単身ではなかなか行きづらいついていていたため、今回のプログラムに応募しました。セントヒルダプログラムを選んだ理由は3つあります。まず一つ目にオックスフォード大学という世界でも有数の賢い大学で学ぶことができることがとても魅力的でした。質の良い授業と先生に出会えることを期待して参加しました。2つ目にプロジェクトワークの時間があり、オックスフォードの学生と一緒に活動をする時間が明確に示されていたことも決め手でした。毎週午後の時間はグループに分かれコンパニオンと会話をしながらプレゼンの準備を進めていけることや、英語を話す機会がきちんと確保されていることがとても良いと感じました。3つ目に1人ひとりの家庭のホームステイ先が用意されていることです。現地の人と関わる機会が十分にあり、英語をはたか機会もたくさんあると感じました。このように2つ目の目的として、英語をたくさん話し、現地の人々と触れ合うことも目的の一つでした。

② プログラムについて

研修・活動の感想

2週間の研修はとても満足のいくものでした。普段学校では英語について学んでいますが、今回は英語で他のものを学ぶ経験ができました。先生はわかりやすく丁寧に教えてくださり、内容も興味深いものでした。午前中の授業では、建築・芸術・リーダーシップ・女性の進出・SDGs・文学などについて勉強しました。多くの授業でオックスフォードの街を探索しに出かけ、半分以上散歩しながら街の中で授業内容について教わることも多くありました。午後の授業ではFantasy Literatureを題材にプロジェクトワークを進めていきました。グループの全員でうまく焼くわいり分担をすることができ、英語の文法や発音についてはコンパニオンが正しく訂正してくれました。またある日は街にインタビューに出かけ、聞きたい質問のほかに、国によってのアクセントの違いなど、様々なことを学びました。印象に残っているのは午後の野外活動であるCream Teaです。イギリスではバターとジャムと、どちらをサジに塗るのかで論争があるらしく、それも含め楽しくイギリスの文化を体験できました。

研修・活動以外の部分についての感想

オックスフォードの街並みはとても綺麗でした。石造りの古き良きという感じでほとんどの建物が立っており、歩くだけでも楽しい街でした。また、オックスフォードは意外と田舎風で、多くの動物を発見することができました。羊。馬・牛・リス・ハリネズミ・キツネ・大きな鳥などがいました。ロンドンにも行きましたが、街の雰囲気は全く異なっていて、長く過ごしたからか、オックスフォードの方が安心感がありました。日本との違いは多く見つけられました。バス移動が多いこともその一つです。オックスフォードでは鉄道に乗ることはほとんどなく、バスの方が移動手段として多く使われていました。また、観光バスだけでなく、ほとんどのバスが2階建てでした。警察・消防・救急のサイレンの音は日本よりも危険な音で、初めて聞いた時はとてもおそろしかったです。イギリス人はやはり紅茶をよく飲むようで、ホームステイ先でも紅茶ばかり飲んでいました。しかし、コーヒーも飲むようで、カフェも多くありました。カフェで驚いたことは紅茶の種類が多いことです。日本や他の海外よりも様々な種類の紅茶が売られていると感じました。

現地学生との交流について教えてください。 ※交流がなかった場合は、空欄で構いません。

コンパニオンとはたくさん話をしました。年上の院生だったのですが、楽しい時間を過ごせました。午後のプロジェクトワークの時間や、課外活動の際に交流がありました。ロンドンやオックスフォードのおすすめの場所について聞いたり、英語の発音についてゆっくり教えてもらいました。よく覚えているのがリスの発音で、思っていた発音とは違い、とても難しかったです。

③ 参加の成果について

今回の参加を経て、ご自身の中での学習面・精神面の成果があれば教えてください。

オックスフォードについて最初の数日は、何も気にすることなく話していたのですが、途中から自分の文法を気にすることが多くなり、うまく発言できないと感じることが多々ありました。ホストファミリーや先生などは全く気にしておらず、優しく待っていてくれるのですが、突然ミスに気になるようになりました。私はなるべく多くの時間を現地の人と話すことに費やそうと思っていましたが、その中で自分の勉強不足を多く見つけました。しかし、その度にホストファミリーやコンパニオンに質問をすることができました。ミスを気にしすぎてもいきましたが、同時に些細な英語の質問でも思い切って聞くことができるようになりました。すごく人見知りな性格ですが、ホストファミリーがとても良い方達だったおかげで、すぐに打ち解けられたし、学校の先生方やインタビューであった人たちとも、楽しく会話することができました。自分の英語でちゃんと会話ができることで自信にもつながったし、同時に課題がはっきりわかり良い経験になりました。

④ その他

その他、気づいたことや今後参加する方へのメッセージがあれば記入してください。

オックスフォードはとても治安のいい街だったので、過度な心配は必要ないと思いました。ロンドンで危険な目にはあっていませんが、気をつけるに越したことはないです。オックスフォードはとてもいい街で、人柄もいいので参加して正解だと思える研修でした。

国際センターのHPに掲載してもよい写真があれば添付してください。キャプションもつけてください。



最終日のプレゼンテーション



授業の一環での街めぐり



課外活動のCream Tea